

個人における SDGs の姿勢

氏名 中嶋康介

要旨本文（文字数は自由）

本研究では、個人の SDGs（持続可能な開発目標）に対する意識を調査した。SDGs とは 2015 年、国際連合で新たなに掲げられたスローガンであり、一定期間内に達成することが求められる。これに関連した先行調査によると、SDGs の認知度は近年徐々に高まっていること、また一定の企業がそれに向けた取り組みを実施していることが明らかとなった。しかし先ほど言及したとおり、筆者は個人に限定して SDGs に関する調査を行った。そこでは、一人一人がどのような意識や関心を持ち、また SDGs はどの程度達成できるのかを調査によって明らかにすることが本研究の目的である。今回、筆者が作成したアンケート調査に対して個人が回答する形式をとった。その結果を見ると、筆者が仮説で想定とおり SDGs に真剣に取り組む人が少ないこと、また SDGs で掲げられた目標を達成するのは難しいことが判明した。したがって、個人における SDGs の姿勢は低めであるということが本研究に対する結論である。